

請願受理番号 3

看護の充実を求める請願

(教育民生委員会)

請願趣旨

貴議会が、住民のいのちと健康をまもるために、積極的な諸施策に取り組まれていることに心より敬意を表します。今日、看護師不足は地方・都市部を問わず深刻な社会問題となっており、看護師確保ができず病床の閉鎖に追い込まれる病院が生まれるなど、地域医療が崩壊する危機的状況も生じています。

日本の看護師数は、OECD加盟30カ国中14位、WHO加盟国比較でも27位であり、欧州や米国との比較では100床あたり3分の1～5分の1という少なさです。

日本の看護職員数は約130万人ですが、過酷な労働実態のもとで離職者が後を断たず、離職率13.1%、新卒看護師の1年以内離職率9.3%（日本看護協会調べ）となっています。日本医労連の調査でも、「十分な看護が提供できている」は8.1%であり、「自らの健康に不安」64.7%、「慢性疲労状態」77.6%、「仕事を辞めたいと思う」は73.1%にも達しています。

私たちは、働き続けられる労働条件のもとで、いつも笑顔で安全でゆきとどいた看護を提供したいと願っています。そのために、現在、看護師の大幅増員をめざして運動をしているところです。

つきましては、貴議会におかれまして、下記事項につき、地方自治法第99条にもとづく国に対する意見書を決議していただけるよう請願いたします。

請願事項

- 1 安心・安全でゆとりある看護が提供できるようにすること。
- 2 看護職員の配置基準を抜本的に改善し、定着のための施策を進めること。
- 3 看護師養成定員の増員、子育てと仕事の両立が図れるよう職場環境を改善すること。
- 4 夜勤の日数を月8日以内に規制するなど「看護職員確保法」等を改正すること。

平成19年12月4日

提出者

山口市八幡馬場53-1

山口日赤病院内

医療の充実をめざす山口県連絡会

会長 磯野有秀

紹介議員 須藤 杲一

紹介議員 山本俊昭

山口市議会議長

武田 寿生 様